

(別紙4(2))

事業所名 認知症対応型共同生活介護 たんより

## 目標達成計画

作成日: 平成 28 年 10 月 8 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	理念と現場が一致出来ておらず、個々の職員の目標とズレが生じている。	現場に沿った理念・目標が職員自ら提案でき、業務に対する意欲や成果につながる。	今年度、毎月職員一人一人の目標の振り返りを行い、共通の認識の中でたんよりとしての理念・目標を確立させる。	6ヶ月
2	35	災害対策について、近隣住民の方との協議の場や協力体制が出来ていない現状がある。	近隣の方々にたんよりの現状を理解していただき、訓練や有事の時に協力を依頼することができる。	近隣住民への協力依頼を、挨拶も兼ねて今一度行う。たんよりの防災訓練に実際に参加していただき、その上でたんよりの今後の課題を共有していく。防犯訓練についても警察に依頼し、訓練を実施する。	6ヶ月
3	40	業者に依頼している食事について、職員と一緒に食事をしているものの検食という視点が欠けており、食事内容の確認や報告、入居者の食事に対する反応や声が反映されていない可能性がある。	食事自体は依頼しているが、たんよりで提供しているという自覚を持ち、食事に対しての記録を残し伝達することを確立させる。	一日三食分の検食に準じた記録をする。その都度改善したり連絡すべき事は速やかに連絡し、栄養会議でも報告していく。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。